

第1次南アルプス市環境基本計画環境指標の達成状況（令和3年3月定例会代表質問参考資料 会派「南風」 櫻田 力）

※環境指標 南アルプス市HP 環境基本計画令和元年度環境指標より

第1節 緑地に着ちせる快適な生活環境のまち

項目	特定数値 (平成21年度)	平成30年度	令和元年度		最終目標値 (平成32年度)
			目標	実績	
1 生活排水クリーン処理率	55.7%	72.1%	84.7%	73.8%	86.9%
2 平均BOD値が2mg/l以下の河川の新設	76.0%	84.0%	83.4%	80.0%	84%以上
3 地域美化活動参加者数	16,482人	18,220人	25,364人	19,340人	26,614人
4 アダプトプログラム参加団体数	17団体	18団体	36団体	17団体	39団体

令和元年度目標達成状況	最終目標に対する達成状況	
	達成	未達成
達成率	達成	未達成
達成率	0%	0%
達成	4	0
達成率	100%	0%

全ての項目が目標未達

第2節 生物多様性が確保され、人と自然が共生するまち

項目	特定数値 (平成21年度)	平成30年度	令和元年度		最終目標値 (平成32年度)
			目標	実績	
5 森林面積の割合	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%
6 松食い虫防除	500㎡	中尾山周辺等実施	中尾山周辺等実施	中尾山周辺等実施	管内エリア完了
7 ユネスコ世界自然遺産	-	登録	登録	登録	登録

令和元年度目標達成状況	最終目標に対する達成状況	
	達成	未達成
達成率	達成	未達成
達成率	100%	100%
達成	3	0
達成率	100%	100%

目標値を達成しているとは言え・・・  
→森林面積の増減は全くないのか？  
→実績把握が不明確。松食い虫の被害は0か？  
→登録維持を目標と捉えることが良いのか？

第3節 身近な緑や水辺に重宝され、自然と触れ合えるまち

項目	特定数値 (平成21年度)	平成30年度	令和元年度		最終目標値 (平成32年度)
			目標	実績	
8 一人当たりの都市公園の整備面積	5.6㎡	8.2㎡	9.5㎡	8.0㎡	10.0㎡
9 一人当たりの身近な公園の整備面積	3.3㎡	7.2㎡	6.3㎡	4.2㎡	6.8㎡
10 公園や子どもの遊び場に関する満足度	33.9%	33.0%	73.4%	30.5%	80.0%
11 住んでいる農業の街並みが美しいと回答した市民の割合	34.3%	45.2%	57.5%	47.0%	60%以上
12 農業就業人口	5,359人	3,594人	4,615人	3,841人	4,630人
13 農業生産法人数	9団体	15団体	14団体	15団体	14団体
14 遊休農地の比率	8.5%	10.1%	6.1%	11.7%	6.0%
15 市庁占有率が全国10位以内の農産物の生産数	2作目	3作目	2作目	3作目	2作目
16 山梨県の特産品認証数	36品目	59品目	39品目	59品目	40品目
17 1万かき農園1区画利用年	66.7%	71.6%	100.0%	63.5%	100.0%
18 1万かき農園1区画利用年	123日	153日	147日	167日	150日
19 認定農業者数	336名	218名	375名	211名	380名

令和元年度目標達成状況	最終目標に対する達成状況	
	達成	未達成
達成率	達成	未達成
達成率	33%	33%
達成	8	8
達成率	33%	33%

達成率33%をどのように捉えてるのか？

南アルプス市H.P 環境基本計画令和元年度環境指標より

第4節 歴史・文化的資源を保全し、自然と調和した景観づくりに取り組みます

項目	特定数値 (平成21年度)	令和元年度		最終目標値 (平成22年度)
		目標	実績	
20 住んでいる世帯の軒並みが美しいと回答した市民の割合	34.3%	45.2%	54.8%	50%以上
			47.0%	

令和元年度目標達成状況		最終目標に対する達成状況	
達成	未達成	達成	未達成
0	1	0	1
	0%		0%

・目標未達

第5節 循環型社会・低炭素社会づくりが進むまち

項目	特定数値 (平成21年度)	平成30年度		最終目標値 (平成22年度)
		目標	実績	
21 粗大ごみ量	405.2t	734.0t	900.0t	1,000.0t
22 廃棄物のリサイクル率	17.7%	12.8%	15.6%	16.2%
23 公共施設におけるCO2排出量	7,328t	9,123t	9,981t	8,352t
24 自然エネルギーの活用による発電	138,926kWh	1,025,584kWh	1,337,000kWh	1,365,000kWh
25 高齢バスを利用していると回答した市民の割合	8.9%	4.4%	14.4%	12.3%
26 バスなどの交通機関の便利さに関する市民の満足度	12.4%	14.0%	17.9%	14.3%
27 公用車の低公害車導入率	22%	41%	48%	59%

令和元年度目標達成状況		最終目標に対する達成状況	
達成	未達成	達成	未達成
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
3	4	3	4
	43%		43%

→達成しているものの平成21年度比で増加

第6節 環境教育と協働のまちづくり

項目	特定数値 (平成21年度)	平成30年度		最終目標値 (平成22年度)
		目標	実績	
28 地域活動へ参加した市民(世帯)の割合	58.5%	52.5%	67.0%	68.0%
29 自治会活動などの地域活動に関する満足度	29.0%	39.0%	47.0%	50.0%
30 自治会に加入している世帯の割合	76.9%	71.7%	77.8%	77.9%
31 認証NPO法人数	30団体	40団体	39団体	40団体
32 地域美化活動参加者数	16,482人	18,220人	25,363人	26,614人
33 アダプトプログラム参加団体数	17団体	18団体	36団体	39団体

令和元年度目標達成状況		最終目標に対する達成状況	
達成	未達成	達成	未達成
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
1	5	1	5
	17%		17%

・目標大幅未達

環境指標のTOTAL達成率

令和元年度目標達成状況		最終目標に対する達成状況	
達成	未達成	達成	未達成
0	4	0	4
3	0	3	0
4	8	4	8
0	1	0	1
3	4	3	4
1	5	1	5
11	22	11	22
	33%		33%

・最終目標に大幅未達である。  
・この結果をどう総括して第2次環境基本計画を作成したのか？

# 国民健康保険税の値下げ試算

\*市の国民健康保険運営協議会での資料をもとに作成

## ■ 県への納付金額 昨年比

被保険者一人あたり **-6,042円** **(A)**

## ■ R2年度予定し、使わなかった基金繰入金

-1億2千万円を

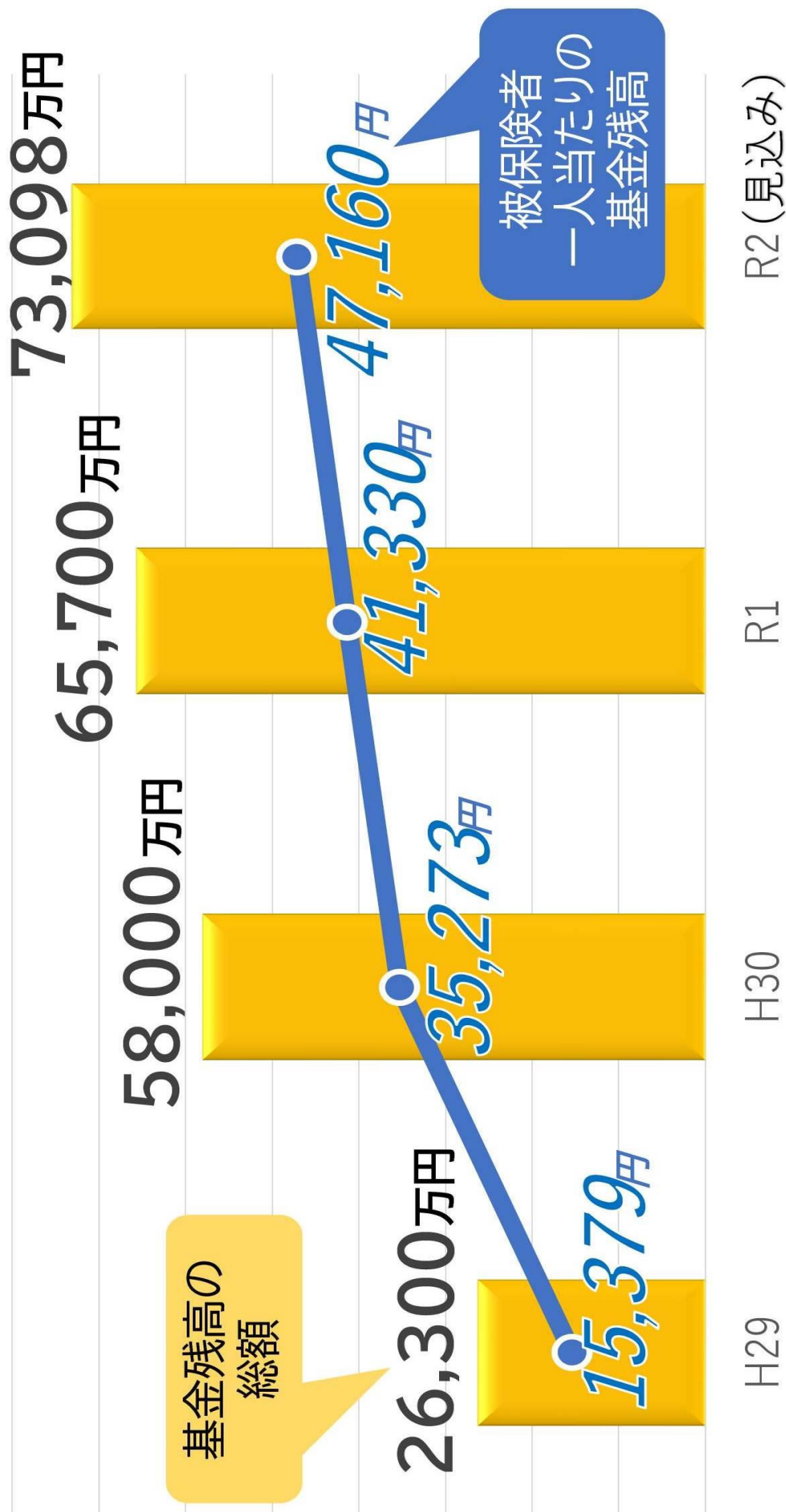
R3年度の被保険者数 約 1万5,200人で割ると

被保険者一人あたり  $\div$  **-7,900円** **(B)**

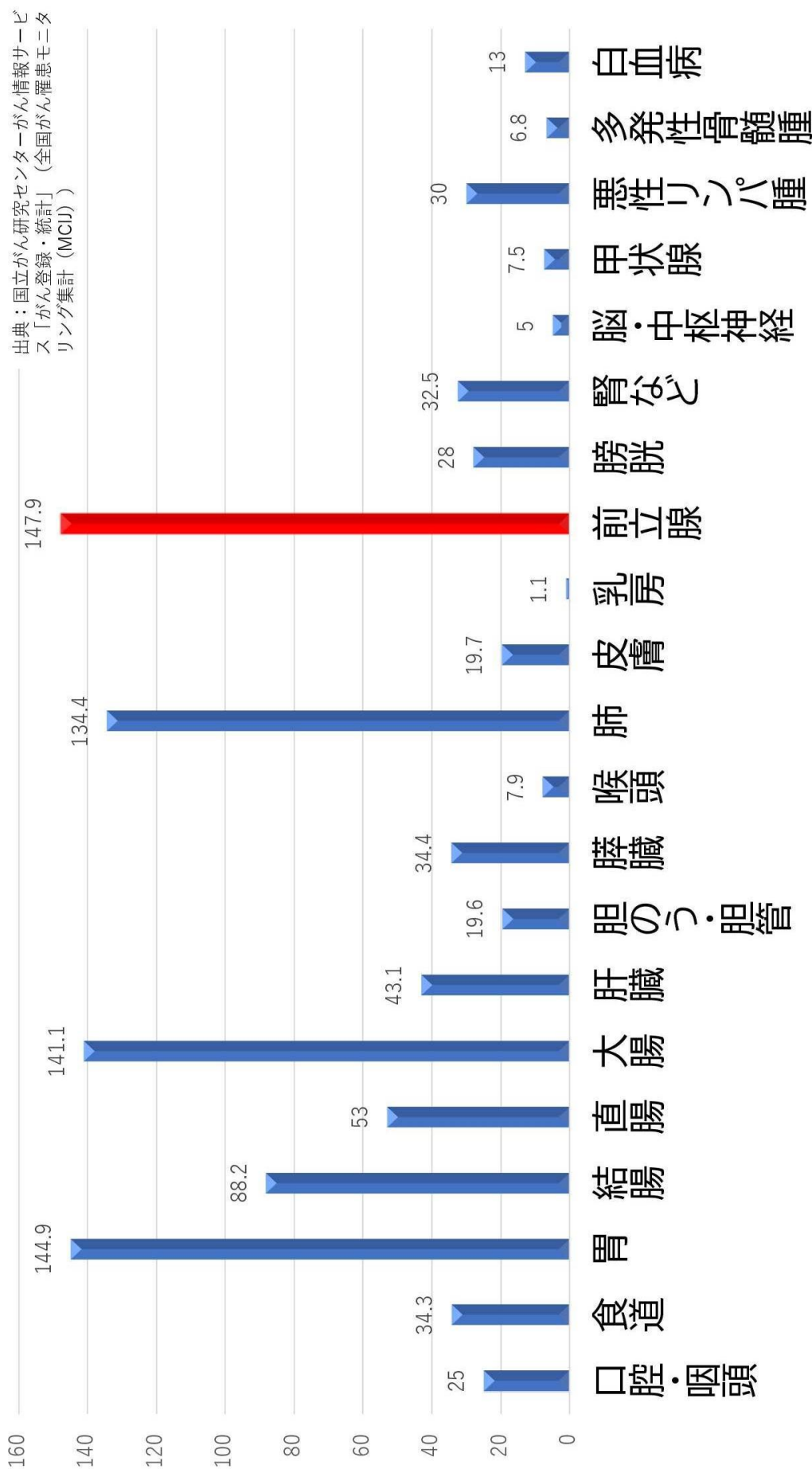
**(A) + (B) = -13,942円(1人あたり)**

# 南アールプス市の国民健康保険財政調整基金の残高

\*市の国民健康保険運営協議会での資料をもとに作成

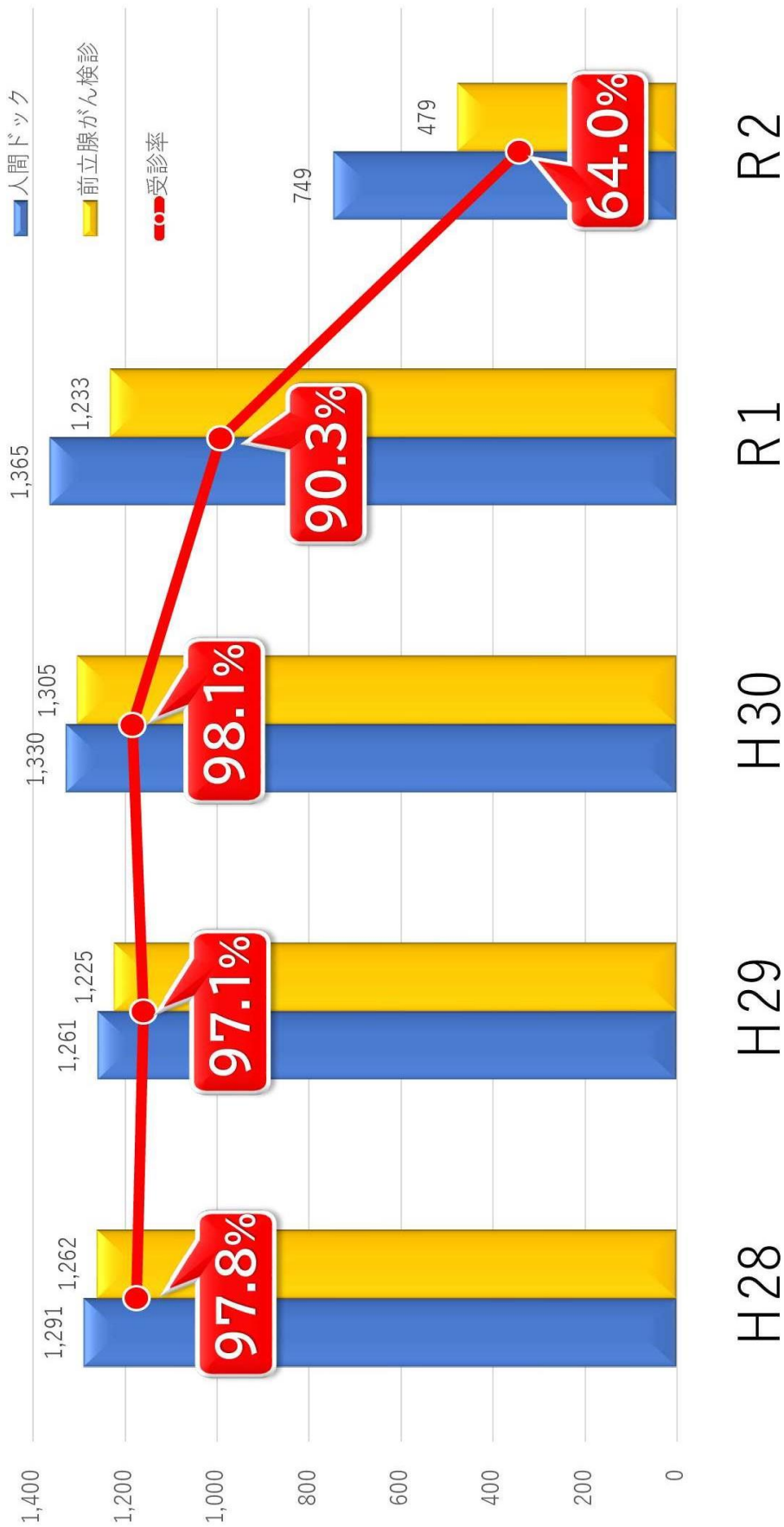


# 部位別がん罹患率(男性・全年齢) 10万人あたりの人数



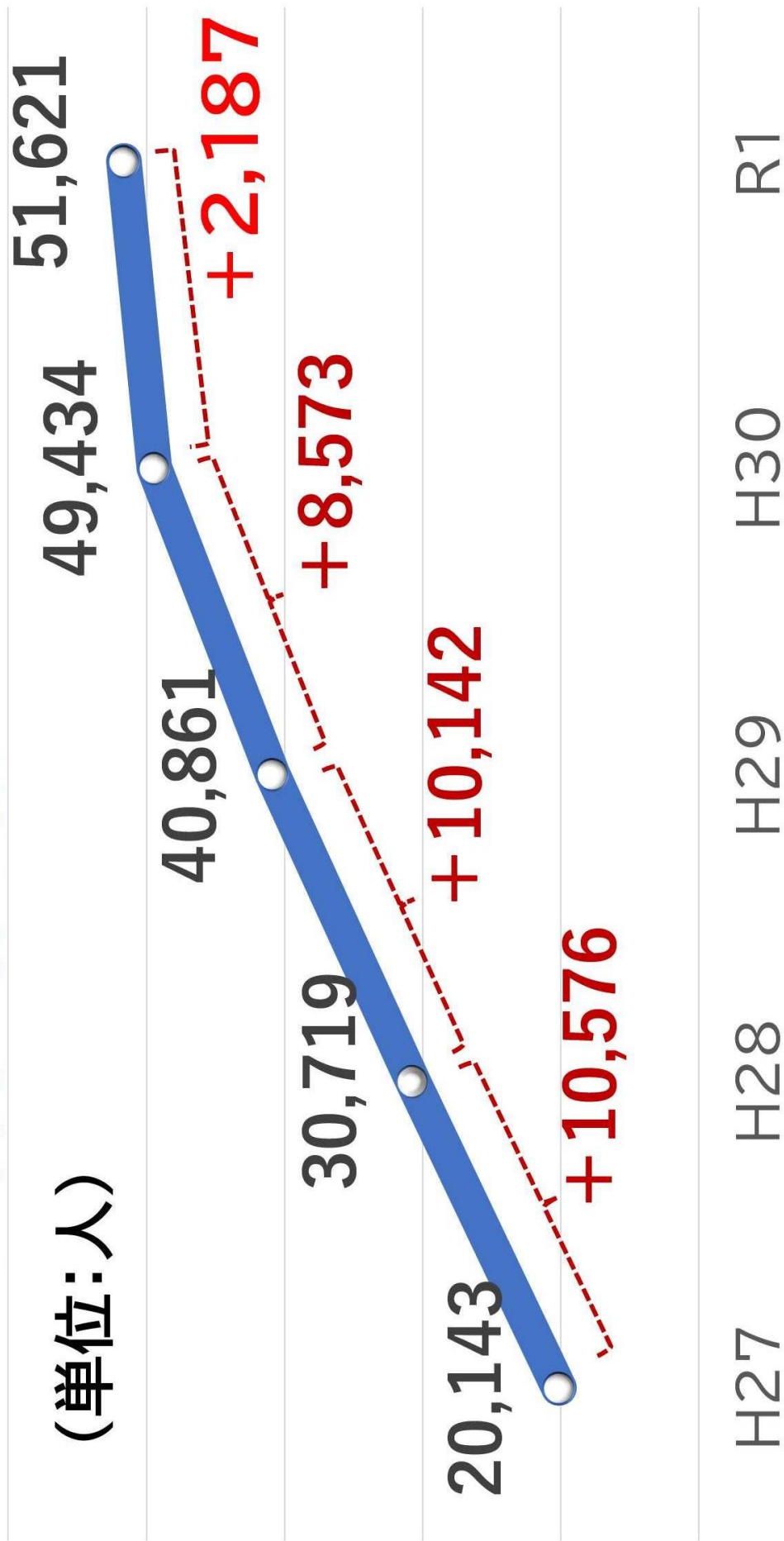
# 男性の人間ドックと、その内の前立腺がん検診の受診者数・率

\*市の健康増進課の資料をもとに作成



# コミュニティバスの年間利用者数の推移 および年間の伸び数

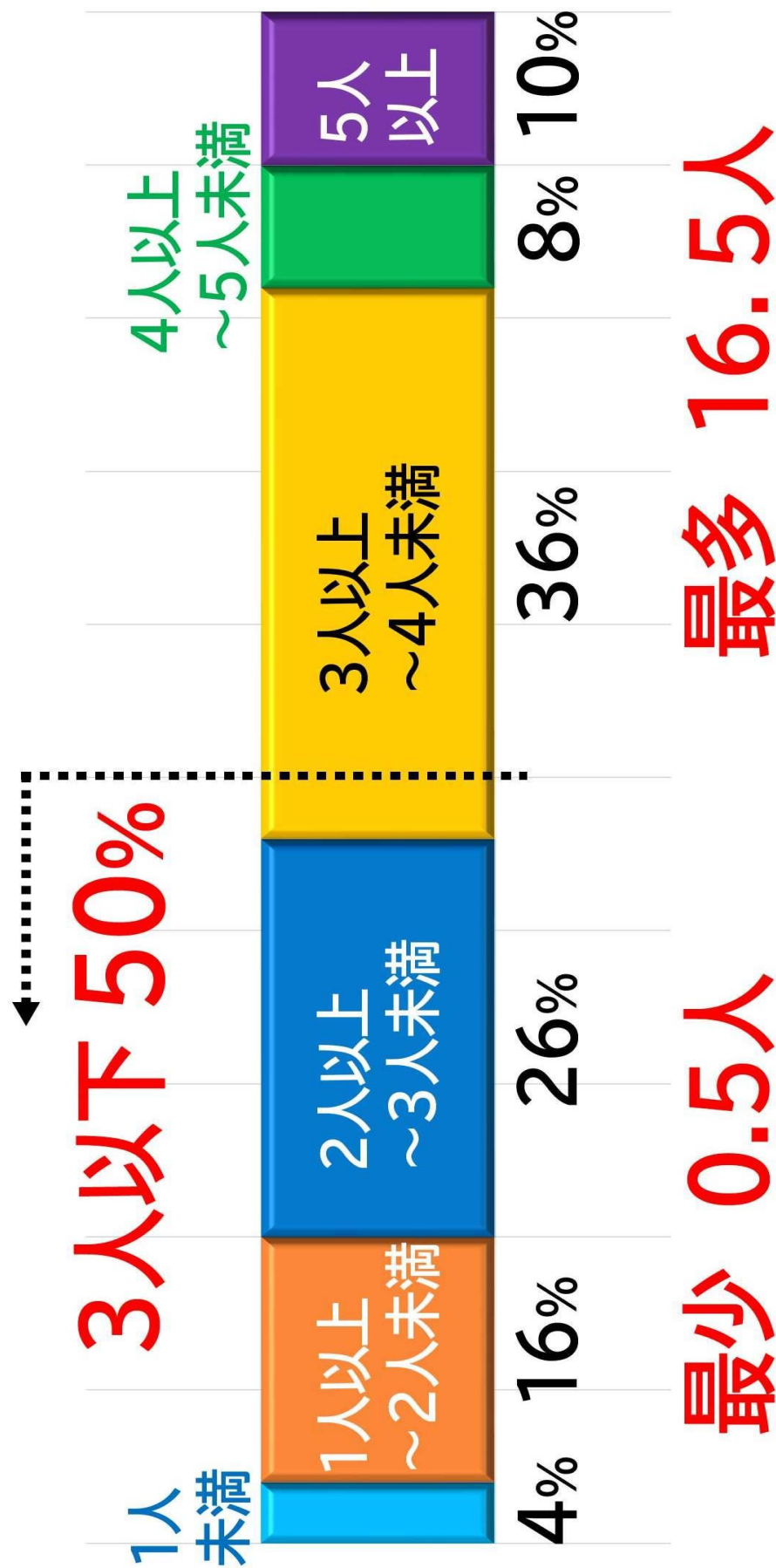
\*市交通政策室の資料を基に作成





# コミュニティバスの各号・各便の1日平均利用者数

\*市交通政策室の資料を基に、各号車・各便の1年間の利用者数合計を運行日数で割って算出。6号車だけは、令和2年3月から9月までの7カ月間の数値を基に算出



## 南アールプス市の空き家の状況

	住宅戸数	別荘のぞく空き家		放置空き家		放置率
		数	割合	数	割合	
平成 30 年度	30,360	4,420	14.6%	2,610	8.6%	59.0%
平成 25 年度	28,740	3,820	13.3%	1,730	6.0%	45.3%
平成 20 年度	26,810	3,750	14.0%	1,610	6.0%	42.9%

(総務省住宅土地統計調査)

## ◇ 持続化給付金等の事業者アンケート調査結果

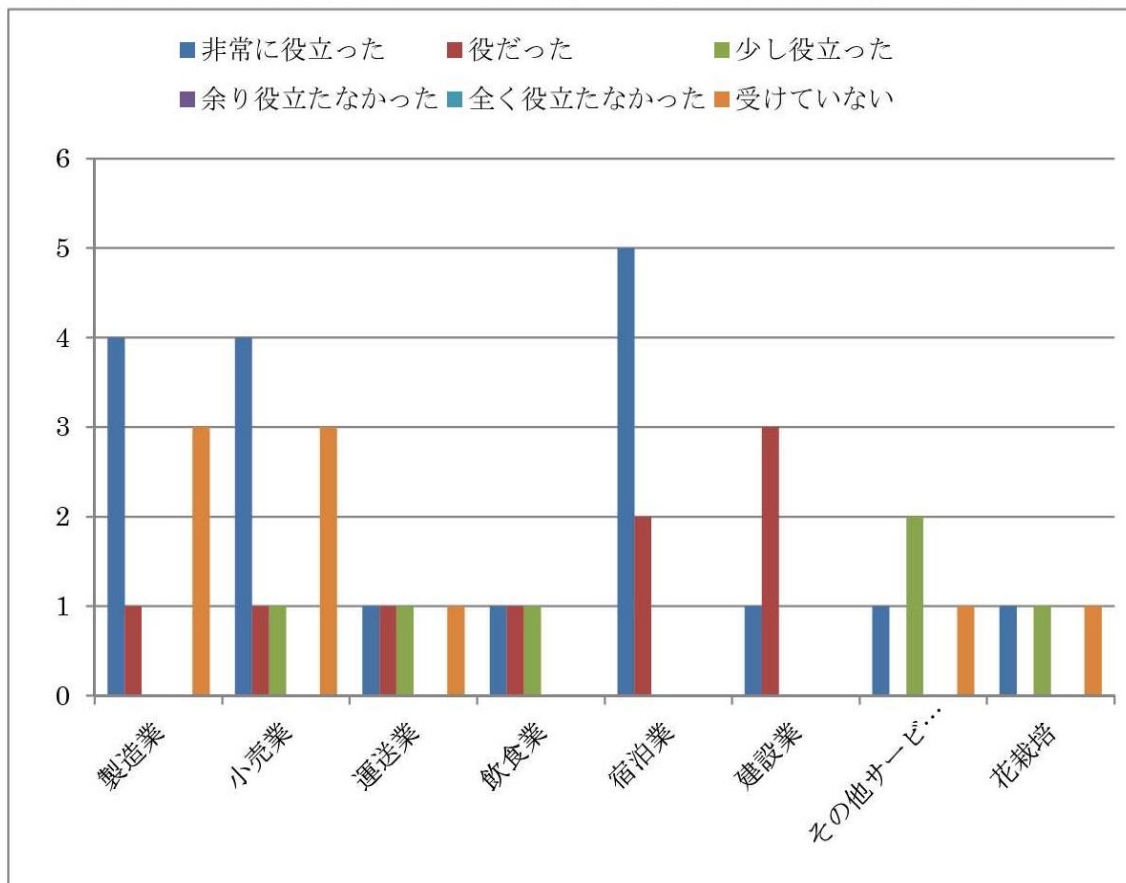
今回、市内の50事業者を対象に国が給付した持続化給付金(法人 限度額200万円 個人 限度額100万円)と南アルプス市がそれに上乗せした分(法人 限度額60万円 個人 限度額30万円)について、実際に事業継続に役立ったかどうかや現在の売上等の状況についてアンケート調査を行った。その結果、42事業者から回答を得た。その42事業者の内、上記給付金を受け取った事業者は、33事業者で全体の78.6%であった。

調査結果は、下記グラフのとおりである。

◎宿泊業(旅館、ホテル等)は全員が給付金を受け取り、非常に役立ったと答えた率が高く、製造業(下請け)、小売業(服店、菓子店等)も非常に役立ったと答えた率が高かったが、給付金を受け取っていない者も一定数ありバラツキがあった。飲食業、建設業も全員が役立ったと答えている。運送業、その他サービス業(美容院、GS等)、花栽培者も役立ったと答えた者が多かったが、給付金を受け取っていない者もいた。

全体としては、受け取った事業者33名中18名(54.5%)が①非常に役立った(青色)と答え、②役立った(茶色)9名(27.3%)と③少し役立った(緑色)6名(18.2%)を加えると全員が事業継続に役立ったと答えている。したがって、今回の国の持続化給付金と市の上乗せ支給分は、市内事業者の事業継続に非常に効果があったことがうかがわれる。

持続化給付金と市上乗せ支給についてのアンケート調査(市内42事業者 2021.2.10 現在)

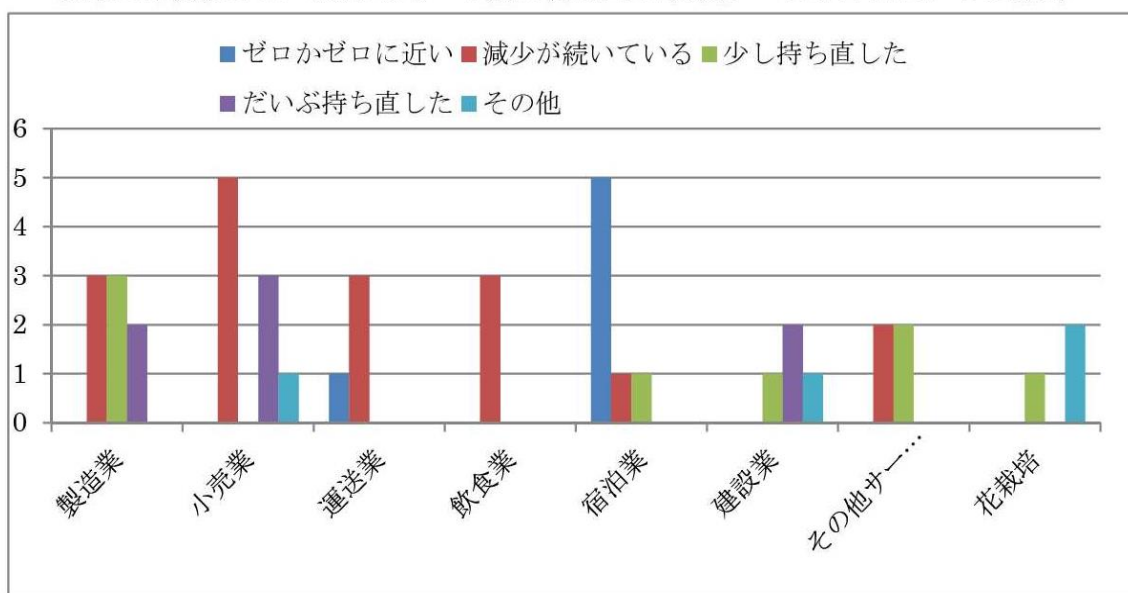


◎次に、令和3年2月10日現在の売り上げ状況を聞いてみた。

宿泊業（旅館・ホテル等）は売り上げが無い状況のところほとんどで、飲食業と運送業は売り上げの減少が続いている。小売業（服店、菓子店等）は持ち直しているところもあるが、減少が続いているところが多い。その他サービス業（美容院、GS等）は減少が続いているところと少し持ち直しているところが半々である。

製造業（下請け）は減少が続いているところよりも、持ち直しているところが上回っている。建設業はすべて持ち直している。

売り上げ状況についてのアンケート調査(市内42事業者 2021.2.10現在)



◎客数の状況は、宿泊業はほとんど客数がゼロに近い状況である。飲食業と運送業は減少が続く、小売業（服店、菓子店等）は一部持ち直しのところもあるが減少が続いている。その他サービス業（美容院、GS等）は減少と持ち直しているところが半々である。製造業（下請け）と建設業は減少しているところもあるが少し持ち直したところが多い状況である。

客数状況についてのアンケート調査(市内42事業者 2021.2.10現在)

